

地域医療支援病院運営委員会議事録

平成 30 年 2 月 2 日（金）19:30～

事務局 （開会前の資料確認・委員紹介）

それでは皆様、お時間となりましたので、始めさせていただきたいと思います。皆様、本日はお忙しいなか、平成 29 年度第 2 回 千葉市立青葉病院 地域医療支援病院 運営委員会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日、司会進行を務めさせていただきます、当病院事務局 事務長補佐の石井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。開会に先立ちまして、お配りいたしました資料のご確認、出席委員及び職員のご紹介をさせていただきます。まず、お配りいたしました資料でございますが、運営委員会次第、配布物一式一覧、席次表、委員一覧、「地域医療支援病院としての役割を果たす要件の実績報告」「平成 28 年度第 2 回地域医療支援病院運営委員会議事録」「広報誌あおば」の、以上 6 点となりますが、不足はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。続きまして、出席委員及び職員のご紹介をさせていただきます。まず、外部委員の皆様よりご紹介いたします。

さいとう
○千葉市医師会副会長の、齋 藤 委員でございます。

かねこ
○千葉市歯科医師会会長の金子委員でございます。

なかむら
○千葉市薬剤師会副会長の、中 村 委員でございます。

てらぐち
○千葉県看護協会常任理事の、寺 口 委員でございます。

ふるかわ
○古川医院、院長の古 川 委員でございます。

こいで
○こいで内科消化器科クリニック、院長の小出委員でございます。

いしづか
○千葉市消防局長の、石 塚 委員でございます。

やまぐち
○千葉市保健所長の山 口 委員でございます。

いまいずみ
○千葉市保健福祉局健康部長の 今 泉 委員でございます

なかたに
なお、千葉南病院、院長の中 谷 委員におかれましては、本日欠席となっております。続きまして、内部委員及び職員をご紹介いたします。

○青葉病院、院長の山本でございます。

○看護部長の樋口でございます。

○地域連携室長の志鎌でございます。

○薬剤部長の安見でございます。

○事務長の神崎でございます。

○医事室長の高橋でございます。

○地域連携室 副室長の菅原でございます。

なお、診療局長の横田におきましては本日欠席となっております。以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、開会宣言に移りたいと思います。開会宣言は、地域連携室長の志鎌先生にお願いしたいと思います。志鎌先生、よろしくお願いいたします。

志鎌地域連携室長 (開会宣言)

これより、平成29年度第2回千葉市立青葉病院 地域医療支援病院運営委員会を開会いたします。開会に際し、山本委員よりご挨拶をお願いいたします。

山本院長 (挨拶)

では、この会議の議事進行を、当病院の地域連携室長であります志鎌先生にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、志鎌先生、よろしくお願いいたします。

志鎌地域連携室長

地域医療支援病院としての役割を果たす要件について、説明をお願いします。

菅原

平成29年4月～12月の地域医療支援病院としての役割を果たす要件の実績報告をさせていただきます。

1. 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

地域医療支援病院紹介率 68.3%、地域医療支援病院逆紹介率 75.0%

紹介患者数 7,183人、初診患者数 10,521人、逆紹介患者数 7,892人

2. 救急医療の提供実績

病床数 ICU 4床、

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数 3,172人(うち1,262人が入院)、
上記以外の救急患者の数 1,589人(うち755人入院) 合計4,761人(うち2,017人入院)

3. 共同利用の実績

病床利用 0件

共同利用できる高額医療機器及び設備等 CT/MR/骨密度測定器 125件

4. 地域医療従事者等に対する研修開催実績

*平成29年4月～10月

在宅医療コーディネーター研修会(ケアマネージャー対象)第1～第6回 4月から10月まで
計6回 参加者105人

*平成29年5月30日(火) 18:30～

第1回青葉足を学ぶ会～フットケア勉強会～「糖尿病患者のフットチェックとフットケア」

講師:下北沢病院 看護部長 三嶋 ミナ子先生 参加者20人

*平成29年8月18日(水) 19:30～第8回千葉市医療連携カンファレンス 参加者68人

*平成29年10月26日(月) 19:00～青葉オープンカンファレンス

「患者中心の意思決定支援」講師:聖路加国際大学大学院 看護学研究科 看護情報分野教授
中山 和弘先生 参加者66人

*平成29年11月10日(金) 19:00～

地域連携講演会～漢方処方セミナー～フローチャート漢方薬治療～がん治療編～

講師:帝京大学医学部 外科 准教授 新見 正則先生 参加者49人

*平成29年11月29日(水) 19:00～

第3回在宅医療連携カンファレンス「胃瘻造設したパーキンソン病患者の在宅療養支援」

講師:西都賀クリニック 山崎 俊司先生 青葉病院 神経内科 青墳 祐弥 参加者68人

5. 患者相談の実績（平成 29 年 4～12 月）

社会福祉士 4 名 看護師 2 名 が担当

入院患者 1,234 人 外来患者 245 人 その他 1,998 人 合計 3,477 人

6. その他の地域医療支援病院に求められる取り組みについて

①病院の機能に関する第三者による評価

平成 27 年度受審申し込み、平成 28 年 7 月 28・29 日 病院機能評価機構受審し、平成 29 年 1 月末に認定済み。

②果たしている役割に関する情報発信

◆広報誌「あおば」6 月と 12 月発行（今年度よりレイアウトを改訂）

◆広報紙「もえぎ」22 回発行

③退院調整部門

平成 29 年度は、社会福祉士 4 名 看護師 6 名 合計 5 名が担当した。

平成 29 年度より、看護師長が配属。地域連携室・担任担当者は 6 名。

平成 28 年 6 月より「退院支援加算 1」を算定し、退院支援担当者を病棟配置した。

*入院患者の 9～10%の患者さんに退院支援計画書を作成した。

退院支援加算 1,547 件、介護支援連携指導料 327 件算定した。

④地域連携を促進するための取り組み（地域連携パス）

大腿骨頸部骨折地域連携パス 44 件 脳卒中地域連携パス 10 件 大腸がん地域連携パス 1 件

4 月～12 月の実績報告をさせていただきました。

志鎌地域連携室長

それでは、地域医療支援病院としての役割を果たす要件について、ご意見がございましたらお願いします。

齊藤委員

3 の共同利用について MRI などの高額機器の利用についてですが、今年の医療費も頭打ちになりこれ以上増えることはない。各開業医も基幹病院も機能分担をもっとしっかりしていかなければいけない。こういう機械の利用は開業医が設備投資をするのではなく、基幹病院に依頼して、検査を行っていくことが今後の医師会の大きな目標でもある。このような利用の道筋を作ってくれているのはありがたい。今後より一層利用しやすい環境作りをお願いしたい。

志鎌地域連携室長

ありがとうございます。質問というより、お願いということですね。

院長

昨年小出先生の方からアドバイスをいただきまして、おかげ様で MRI の利用実績は伸びてきました。今後とも先生方のご意見もお聞きして、どのようにすればオーダーしやすいか、また検査の種類によっても MRI・CT・骨密度などをやっていますが、これ以外のもので需要があるものがありましたら、お伺いしていきたいと思います。どうもありがとうございます。

志鎌地域連携室長

病院ができて 15 年くらい経ち、機械が全部更新されてきています。MRI が新しくなり、来年は RI 装置が新しくなる。4 月から利用開始になる予定なので、そういったことも宣伝しながら、皆さんの役に立てるようにしていきたいと思います。

古川委員

医師会の方針として、青葉病院の高額で精度の高い医療機器を検査として使わせてもらう願いが増えます。私たちや斉藤先生はそれをある程度医師会員に広めていく役割を担っていくことになりそうです。基本的な認識として、キャパの問題はどうでしょう？医師会員全てに啓蒙活動をやっていくと、パンクしないか？1日に何件くらいの検査であれば可能か？見通しなどがわかれば知りたい。

菅 原

予約が多いのは、頭部のMRIで1日2～3件の予約がある。放射線科の緊急枠を利用して予約ができています。CTは2台あるのでキャパは十分にあります。オープンMRIも空きがあるので、予約をいただければ早い時期で予約を取ることができている。頭部のMRIについては、1件あたり、1時間程度かかるので、1日2～3の予約枠になります。

志鎌地域連携室長

CTはかなり余裕があるので、院内では即日とってもらっている状態です。

小出委員

MRIをお願いした患者さんからとてもスムーズだったと話があり、患者さんも喜ばれている。混んでいる病院なのに、時間通りやってもらって、スムーズにその後も終わって早く時間通りに帰れた。1時間2時間は待たされると思って覚悟して検査に行ったが、スムーズだったと聞いています。スムーズな運用で、スムーズな関係を十分築いていくことが可能だと思います。一つ要望ですが、所見用紙を拝見しているのですが、所見用紙に青葉病院という名前が一つも入っていない。青葉病院の先生からせつかく書面をいただいているので、どこかに青葉病院の名前が入っている方がいいと思います。

院 長

わかりました。

志鎌地域連携室長

今の意見を反映させていただきたいと思います。

志鎌地域連携室長

ないようですので、この議題については、説明のとおりとさせていただきます。続きまして、2番目の当院の訪問指導の報告に移らせていただきます。最近力を入れています退院前訪問、退院後訪問について地域連携室師長 中野より報告させていただきます。

中野師長

自宅に退院する患者を対象に、平成28年度より病棟看護師と地域連家室スタッフが、退院前・退院後訪問を行っています。自宅での家族指導やケアマネジャー・訪問看護師に引き継ぎを実施しています。今年1月までの実績の退院前訪問・退院後訪問の実績は退院前訪問19件、退院後訪問5件 合計24件の訪問指導を行っています。生活する場で実際に吸引を行ってもらい指導を行ったり、食事摂取の指導を行っています。このように病棟看護師が自宅を訪問することで、患者・家族の安心が得られると共に、病棟での看護に生かせる学びの機会になっています。

志鎌地域連携室長

それでは、当院の訪問指導の報告についてご意見がございましたらお願いします。

寺口委員

この近くは訪問看護ステーションが沢山あって、その連携はスムーズにいつているかどうか。今、国はみなし訪問という病院から訪問看護ステーションを設置しなくても訪問する、今の退院後訪問ではなくてみなし訪問というのを推奨しているようですが、それに関して何か取り組みを予定しているのかどう

か伺いたい。

中野師長

ご質問ありがとうございます。

地域の訪問看護ステーションさんとは同行訪問という形で退院前訪問に病院から行くのと同じ時間に訪問看護ステーションさんが訪問してその場で引き継ぎをさせていただくケースもたびたびあります。診療報酬上は退院前訪問の同行訪問は加算がなく、加算のある退院後訪問の同行訪問については今年度まだ1例しか算定できていません。退院後訪問自体、件数がまだまだ少ない状態なので、実績としてはそのような状態になっています。みなしの訪問看護については、今のところは予定はしておりませんが、もう少し病院の中の体制ができれば、訪問看護の方も進めていって、急性期病院の看護師が地域に出ていくような取り組みをしていきたいと考えています。

志鎌地域連携室長

議題は以上でございますが、その他、何かご意見のある方はいらっしゃいますか。他に何かございますか。ないようですので、以上をもちまして、平成29年度第2回千葉市立青葉病院 地域医療支援病院運営委員会を閉会させていただきます。本日は、お忙しいなかご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。なお、事務局よりご連絡がございますので、よろしくお願いします。

事務局

委員の皆様におかれましては、2年間の任期中当院の運営への御助言・ご指導いただき本当にありがとうございました。本日は、お忙しいなか、誠にありがとうございました。